

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月23日
札幌市立伏見中学校

1 本校の学校教育目標（本年度、本校の目指すもの）

・豊かな心を育む ・自ら学び考える力を高める ・自律の心と健やかな身体をつくる

2 本年度の学校運営6つの重点・学校運営スローガン

- ・「豊かな人間性の育成」～豊かな人間性を育成するための教育活動の推進
安全で安心した学校生活を送るためのきめ細やかな生徒指導の取組
- ・「確かな学力のはぐくみ」～生徒の伸びを軸とした確かな学力の定着
自律的な学習者を育む取組
- ・「健やかな心身の育成」～積極的に身体の健康保持を図る態度の育成
心の安全を育む教育相談機能の充実
- ・「特別支援教育の充実」～個に応じた指導の充実
- ・「信頼される学校づくり」～学校組織の活性化と経営参画意識の高揚
信頼される学校づくり
安全で安心な学校管理
- ・「伏見らしさの継承」～創造性を発揮させる学校行事

学校運営スローガン

「すべての人が幸せになれる、安全で安心して過ごせる学校」(安全・安心)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

※学校評価アンケートの結果、「そう思う」「ややそう思う」の合計が85%以上をA、70%以上85%未満をB、70%未満をCとした。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点項目	学校教育目標や教育推進の重点を意識して、教育活動を行っている。	A	札幌市学校教育の重点、学校教育目標や学校長から示される学校運営の重点を整理し、教職員全員で共通理解と高い意識をもち教育活動を推進する。	A	A
	研究主題「個と集団を生かし自己有用感と学習の質を高める授業づくり」を意識して、授業づくりに取り組んでいる。	A	自己の有用感と学習の質を高める授業づくりを意識する。すべての生徒が達成感と自己の伸びを実感し、「分かる・できる・楽しい」授業づくりを推進していく。	A	A
	保護者に教育方針を十分に伝えている。	A	学校説明会、学校だより、HPによる教育方針の説明や情報の発信を、保護者により理解しやすいものにする。更に、学年・学級懇談会等においてより具体的な説明を心がける。	A	A
	学校の様子を十分に情報発信している。	A	各種たより等の定期的な発行に今後も努める。HPの更新や保護者メールの活用により、今後も個人情報等に十分配慮しつつ、更新サイクルを短くタイムリーな情報発信を行っていく。	A	A
	地域や保護者に「開かれた学校」になっている。	A	学校公開日設定日の工夫と周知をしっかりと行う。保護者メールによる連絡を継続する。保護者の要望や感想、意見がどのように学校改善に反映されたのかを発信していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	忙しい中、大変だと思いますが、HPの更新等は、保護者にとっては学校生活が垣間見られて大変良い取組だと思います。				
学習指導	基礎基本の定着のために、指導計画や指導方法を工夫している。	A	本校の「学ぶ力の育成」を意識しながら、授業のねらい・目標及び評価規準を子どもに明確に示す。また、授業内容に合わせて、生徒が積極的に参加できる授業を行う。	A	A
	特別の教科道徳の授業が有意義なものになっている。	A	特別の教科道徳について、今後も「考え・議論する道徳」を更に推進していく。授業・評価の工夫・改善・研修を全教師で行う。地域や家庭へ、その情報を十分に発信する。	A	A
	総合的な学習の時間は、生徒にとって有意義な授業である。	A	教師、生徒、保護者ともに総合的な学習の時間を肯定的にとらえている結果が見られる。よい実践を継続する。3年間を見越した系統性をもたせるとともに活動のマンネリ化に注意していく。	A	A

	評価・評定の方法は適切である。	A	研修会、教科会を活用し、評価の信頼性と妥当性を更に高めていく。題材の評価規準の見直しと改善を継続していく。各種テストを利用しながら、生徒の学習実態を把握し、今後の学習指導に反映していく。	A	A
	教科の評定方法について、生徒・保護者に十分説明している。	A	学校説明会、保護者懇談会などの機会を捉えてしっかりわかりやすく丁寧に説明していく。各単元・題材目標・ねらい及び評価規準を明確にする。	A	A
	生徒は落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	朝読書を継続する。見通しと振り返りのある授業を実践し、課題探究的な学習など意欲的に取り組む授業づくり・学級づくりに努める。	A	A
学校関係者評価委員による意見	情報発信は十分行われていると思います。受ける側も注意して目を通し、理解することが大事だと思います。				
生徒指導	生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている。	A	教育相談期間を年3回に増やすとともに、必要に応じた教育相談活動を行い、生徒への温かい配慮ときめ細やかな対応を心がける。	A	A
	生徒はあいさつがしっかりできている。	B	生活委員会の挨拶運動の継続はもちろん、教師からの積極的な挨拶の働きかけ、生徒会活動や部活動との連携、特別の教科道徳との関連など、学校生活の様々な場面において挨拶に関する取組を行っている。	B	A
	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	A	授業や日常生活の中から、生徒の心の状況や人間関係の多面的な把握に努め、生徒の気持ちに寄り添った丁寧な指導をしていく。いじめ防止道徳をはじめ、特別の教科道徳の充実、学校生活全般で道徳的価値に基づいた生き方の自覚を図っていく。	A	A
	生徒の悩みや問題について、適切にかかわっている。	A	全校体制で生徒が相談しやすい環境づくりをし、様々な悩みを抱えた生徒の内面的なサポートをより丁寧に継続していく。生徒理解に努め、保護者や関係各機関との連携を図り生徒の心の状況の把握に努める。	A	A
	生徒指導の交流が日常的に行われ、適切に指導できている。	A	様々な機会に日常の情報交流を迅速に行うよう努める。スクールカウンセラーや相談支援パートナー等と連携し、校内学びの支援委員会・生徒指導部主体で情報共有を図る。	A	A
学校関係者評価者による意見	落ち着いている印象ですが、下校時にお店に寄り道している光景をちらほら見かけます。				
その他	生徒は生徒会や学年の活動を活発に行っている。(生徒会活動)	A	活動の目的を明確にするとともに、活動時間を確保し、生徒の負担を考慮しながら、限られた準備時間でこれまで同様の成就感が得られるよう工夫する。	A	A
	生徒は生徒会行事やその他の学校行事に積極的に参加している。(学校行事)	A	行事の配列や時期を考慮し、生徒が意欲的に取り組むことができるよう工夫していく。伏見らしい、創造性を育む活動の更なる充実を図る。	A	A
	健康や安全の指導を日常的に行っている。(健康・安全)	A	心身の健康保持に努める態度を育成する保健指導及び食育の充実、アレルギー対応の研修の充実を図る。校内の教育環境の整備と維持管理、避難訓練などの防災教育の充実を図る。	A	A
	学校予算等の運用が適切に行われている。(経理)	A	今後も、透明性をもって、適切な運用に努める。	A	A
	保護者は学校に協力的である。(PTA)	A	学校、保護者が協力し合ったPTA活動を継続していく。また、保護者が参加しやすい環境づくりに努めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	保護者も忙しい中、学校祭での活動は変わらず、楽しませていただきました。良き伝統を守りつつ、新たな取組にもチャレンジして成果を出していると感じます。				

4. その他 学校関係者評価者からのご意見

・学業だけでなく、伏見中学校で身に付けたことはこれからもいろいろな場面で発揮されることと思います。登下校時、少人数で元気がないように見受けられますが、学校行事、部活動等で、協力することや達成感を味わってほしいと思います。今回の休校で学校の迅速な対応には頭が下がります。

・先生方の熱心なご指導のもと、それに応え、規則正しく落ち着いた生活を送る生徒たちの姿はとても清々しく見受けられます。誰もが誇りをもって、伏見中の卒業生と言えるのは3年間の学校生活が充実したものであるのだからなのだろうと感じています。

※学校関係者は学校評議員3名です。